



2015年11月15日
第575号

1部10円(組合員は組合費を含む)
郵便振替00960-7-117274

Tel (06)4793-0633 Fax(06)4793-0644 E-mail: info@ewaosaka.org http://www.ewaosaka.org

発行 大阪教育合同労働組合
Education Workers and Amalgamated Union Osaka(EWA)

発行人 酒井 さとえ

連絡先 大阪市中央区北浜東1-17 8F

ALL大阪
&
ALL沖縄

共通の敵はどこにいるのか

～ 維新政治をこれで最期に！ 11月22日は大阪W選投票日！ ～

11月22日、大阪W選の投票日が近づいてきました。今回のW選、有権者は「維新か、自民か」という大変厳しい選択を迫られています。先の大阪都構想住民投票で、自民党本部が自民党大阪府連ではなく維新の会を応援したように、安倍政権が橋下維新の下支えをするという、何重にも捻れた構造を生み出しています。

2008年から始まった、独裁・分断・破壊の維新政治を終わらせるため、沖縄の闘いに力をもらった組合員からの報告をここに掲載します。さあ、私たちの責任として、ここで維新政治に終止符を打とう！

オール沖縄・オール大阪の敵は安倍政権

10月末、沖縄辺野古に行ってきました。翌日から新基地建設工事が再開されるため、キャンプ・シュワブのゲート前も緊迫し始めていました。

「新」基地建設のための辺野古 辺野古は普天間基地の代替地とかシュワブ基地の拡張だと宣伝されていますが、佐世保の米海軍機能の移転も考えられており、「新」基地建設にほかなりません。そして、復帰後初めての基地建設なのです。

当面の敵は安倍政権

ゲート前集会で、旧知の方から「大阪は大変ですね、自民党に投票しなければならぬのですから」とW選挙について言われました。そうだとしたものの、考えれば沖縄の方が先行しています。

翁長知事を先頭にしたオール沖縄はかつての自民党が大きな役割を果たしています。観光業を中心とした財界グループはオール沖縄の側にあり、沖縄資本ホテルもここに位置付けています。オール沖縄の当面の敵は、日本政府・安倍政権です。そして、辺野古基地反対は勝利する公算が大き

いと言われています。

大阪もオール沖縄に続け！
オール大阪はどうでしょう。当面の敵は橋下維新ですが、橋下維新を支えているのが安倍政権です。だからW選は橋下・安倍を相手にした戦いなのです。大阪自民党も沖縄自民党に続く時でしょう。

国際通りでは、軽自動車街宣車が翁長知事を誹謗していました。その車が掲げていたのは「日の丸」と「星条旗」でした。

山下恒生(豊中支部)

「授業アンケート」の大きな欠陥!

吹田支部、吹田市教委を追求

吹田支部が、授業アンケートに関して市教委を追及している点を二つ紹介します。

授業アンケートへの回答は

任意であることを明示せよ!

一点目は、校長名で書かれた「授業アンケート実施のための保護者へのご案内」には、「保護者(子ども)がこのアンケートに協力するかしないかの選択権」が保障されておらず、強制的に実施されているという点です。

支部は、2015年6月、市教委と交渉し、次の発言を引き出しました。

『アンケートは、絶対提出しないとイケないものではない。府も「強制すべきではな

い」と明言している。市教委としても、校長会において、「各担任等が提出を強制することが無いように」との指導を行っている。』

これを受けて組合は、「『このアンケートは、強制されるものではない』という文言を『ご案内』文に入れるべきだ」との申し入れを市教委に対して強く行っています。

校長交渉の結果、現場によっては、校長が校内放送で『答えたくなかったら、答えないという選択肢もあります』と説明しているところや、上記内容を各担任が教室で伝えているところも出てきています。

「強制されるものではない」という市教委側の発言をテコ

授業アンケートを骨抜きに!!

に、さまざまな戦術をみ出し、授業アンケートを骨抜きに近づけていきたいものです。

収集目的を隠した授業アンケートの回収は個人情報保護条例違反だ!

二点目は、上記「ご案内」には、「このアンケート結果が、教員の勤務評価に深く関わる」旨の収集目的が充分明

示されておらず、吹田市個人情報保護条例第7条『個人情報を収集する際は、その目的を明示すること』に違反している点です。この点に関しては、「明示しているつもりだ」とする市教委とは平行線となっています。

峰岡和義(吹田支部)

当面の日程

11月26日(木) 10時～ 咲洲庁舎

「君が代」不起立戒告処分人事委員会第3回口頭審理

11月28日(日) 11時～ 大阪空港北ターミナル

JAL大阪支援共闘定例宣伝行動

11月28日(土) 18時半～ 市立中央会館 憲法のつどい2015「戦争法廃止への展望を考える」講演:水島朝穂さん 資料代:1000円

12月6日(日) 13時半～ エルおおさか大会議室

「戦争教科書」いらん! みんなで声を上げよう大阪集会!



なくそう!官製ワーキングプア・大阪集会 Vol. 3

11月1日、エルおおさかで「なくそう!官製ワーキングプア 第3回大阪集会」が開かれました。午前中は分科会に分かれ、それぞれのテーマで学習の場が持たれました。

組合からも報告

「ハイブリッドユニオンのすゝめ」
「混合組合の団結権・少数組合の闘いに学ぶ」の分科会では、教育合同から山下恒生元執行委員長が「混合組合（ハイブリッドユニオン）のすゝめ」と題して報告を行いました。そこでは、正規・非正規、地公法適用者・労組法適用者が、同じ学校現場で働く者として同一組合に団結し、



約140人の参加者で会場は満員となった

共闘している教育合同の意義が報告されました。
午後からの全体集会ではまず、雇止め解雇撤回裁判で闘っている当該の方々からのアピールがありました。
全体集会ではとくに、昨年に出された総務省のいわゆる

もはや非正規は全労働者の4割！

「7・4通知」をめぐる問題について学びました。

官製現場は「無法地帯」
公務非正規労働者のうち、特別職非常勤職員（地公法3条3項3号適用＝労組法全面適用）を、そもそも任用根拠の不明確な一般職非常勤職員（地公法17条適用＝地公法適用）に転換する動きが各地の自治体で進んでいます。法の不整備のために生じる公務非正規労働の問題を西谷敏さん（大阪市立大学名誉教授）は「無法地帯」と指摘しました。現在、正規職員は減少し、

非正規職員は増加し続けています。今後ますます非正規職員のために闘う労働組合のニーズが高まるのは当然です。

労働運動で継続雇用を勝ち取ろう！

継続雇用を勝ち取っていくためには労働組合の力であることが、この集会でも多く報告されました。そして、そのためには各労働組合が横につながる必要があること、また、当面は先の「7・4通知」の改善面として使えるところは活かして非正規職員の待遇改善をめざして闘っていくこと、などが共有されました。

田辺岸代(執行委員)

許せない！ヘイトデモ ～京都でカウンター行動～

10月25日(日)、京都でネット右翼主催のヘイトデモが行われました。名目は「日韓国交断絶」という政治デモを装っていますが、デモで吐かれている言葉はヘイトスピーチそのものでした。

根拠のない在日特権

彼らが言う「在日特権」とは、生活保護を優先的に受けられる(認定に国籍は無関係)、税金や公営住宅の家賃が無料(全くの嘘)、通名を変えれば前科が抹消される(日本の警察はそんなに甘くない)、など荒唐無稽なものです。嘘とわかっているのに差別意識を煽る為には手段を選びません。

抗議行動でヘイトデモを圧倒

ヘイトデモ20～30人に対して、それに抗議するカウンターは5倍以上、歩道を併進しながらプラカードを掲げたり、マイクでアピールしました。

昨年12月の同様のヘイトデモでは、カウンターが集合場所の円山公園を包囲し、デモ出発を30分遅らせました。そのこともあってか、警察はカウンター以上の人数を動員してヘイトデモを守る格好になっていました。

観光客もデモに嫌悪

京都祇園、河原町という場所柄、海外からの観光客に「AGAINST RACISM」のプラカードを渡すと応援してくれる人がたくさんいました。

違ったままで一緒に生きよう

ヘイトスピーチは在日外国人の問題ではなく日本のマジョリティーの問題です。
差別排外主義と闘うことや、「研修生」など安上がりで無権利状態の外国人労働者と連帯することは、労働組合の課題としてますます重要になっていきます。

田中浩昭(高校支部)

文化おちこち (153) 中国日本語教師物語 【第4回】 『私の故郷は花園口です』



今も残る大連駅周辺の日本人街

先生はどちらのご出身ですか？
そう聞くと、日本語学科のG先生は、大連の田舎の方ですよ、と少し照れたように笑って答えられた。私は、聞いてもわからないのに、何と言うところですか、と重ねて聞いた。すると、「花園口です。1894年、日本軍が最初に上陸したところです」と、それまでの笑みは消え真剣な眼差しで言われた。
日清戦争のときですか？ そうです。こちらでは、午の年だったので

甲午戦争と呼んでいます。知りませんでした。先生のおじいさんやおばあさんたちは日本が嫌いなのではないですか 昔のことです。そんなことはありませんよと、笑って答えられたが。

1894年10月25日、日本軍は遼東半島の寒村花園口に上陸する。そして、旅順に向かう。11月21日の旅順占領から4日間に亘り、2万人におよぶ無抵抗の清軍兵士、市民をほとんど皆殺しにするような大虐殺を日本軍は行ったという。南京大虐殺の43年前のことである。無抵抗の兵士・捕虜の虐殺、女性の強姦、子どもの惨殺、侵略はすでにここから始まっている。

安倍総理は戦後70年談話と称して「日本はアジアで最初に立憲政治を打ち立て、独立を守り抜き、日露戦争は植民地支配のもとにあった多くのアジアやアフリカに人々を勇気づけた」と平気で嘘を言う。

ここ中国は、日本人が忘れてはならない歴史がいくつも起こったところである。ある学生は言う「歴史を学ばない日本人が再び過ちを犯すのでは



『自民党憲法改正草案』の第五十三条「内閣は、臨時国会の召集を決定することができる。いずれかの議院の総議員

の四分の一以上の要求があったときは、要求があった日から二十日以内に臨時国会が召集されなければならない」自ら作った改憲案すら守れない墮落ぶり